

まずはここから！
高槻の定番スポット

高槻ビギナーさんでも迷わん
ます押さえておかなあかん
定番なとこ案内すまで！

ビギナー

Beginner



旧芥川宿場町周辺



かつて宿場町として
栄えた西国街道

京都と大宰府を結んだ「山陽道」を前身とする西国街道。高槻のまちを東西に抜けるこの道は、江戸時代には「山崎通」と呼ばれ、京と大阪を行き交う人々にぎわいました。今も街道沿いには、宿場町として栄えた当時の面影が残り、歴史の息づく風情ある散歩道となっています。

西田本店



P19-A1
西田本店
高槻市芥川町3-9-14



+Home



P19-A1
+Home
高槻市芥川町2-9-11



亀屋旅館



P19-A1
亀屋旅館
高槻市芥川町2-11-3



「ただいま」手づくりの味が
教えてくれる帰る場所

この宿には、物語がある
かつて西国街道の宿場町として栄えたこの地に、老舗の宿「亀屋旅館」が静かに佇んでいる。格子戸の先には古き良き日本を感じさせる式台があり、館内中央には女将が手入れを続ける美しい池が広がる。鯉が泳ぐ水面の揺らぎに耳を澄ませば、日常を忘れる穏やかな時が流れ、ここで過ごすときはまるで時を旅するよう。

野見神社



P18-B2
野見神社
高槻市野見町6-6



城下町の記憶が眠る場所

高槻市野見町に佇む野見神社は、9世紀後半、疫病が猛威を振るったとき「社殿を造り牛頭天王を祀れば悪疫が収まる」という神託により創建されたと伝えられています。その後、城下町・高槻城築城の折には城内守護として藩主らの崇敬を受け、明治期に入り祭神に相撲の神・野見宿禰命を合祀し、現在の名称へと改められました。静かな参道を歩いていくと、歴史が折り重なった佇まいが胸に迫る。町の喧騒から離れ、ここでひととき祈りを捧げれば、過去と今が交錯する時間を感じられるかも。

ジンジン POINT!

永井直清という、かつてこの地に暮らした城主を治めた藩主を祀る。それはただの神社ではなく、大阪と京都を陰ながら守った「高槻の根っこ」を感じてジンジン。



安満遺跡公園



P18-A2
安満遺跡公園
高槻市八丁畷町12-3



高槻人の自慢スポット、安満

いまや高槻人の憩いの場として定番となった「安満遺跡公園」。甲子園球場5個分の敷地には老若男女が楽しめるスポットがあちこちに点在しています。東西に分かれた両エリアでは、年間を通じて様々なイベントが開催され、「安満」に行けば何かやってみよう、行き当たりばったりでも過ごせてしまう、これこそ通称「安満」の一番の魅力。実はここ、もともと京都大学の農場があったところ。公園中央、農場の名残であるシンボリックな建物が「旧京都大学高槻農場建物」です。赤い屋根と白い壁、昭和初期に建設された趣を残しつつ、リノベーションされました。

ジンジン POINT!

夜の公園はぜひ正面から見てほしい！
ライトアップされた道の先に浮かぶ、旧京都大学高槻農場建物にジンジン。



甘党 多津屋



P18-B2
甘党 多津屋
高槻市高槻町20-17高槻センター街内

昔ながらの味わいに リピート間違いなし

阪急高槻市駅すぐの老舗食堂「甘党多津屋」は、地元の人に長く愛される名店です。初めて高槻に来た方にもぜひ行ってほしいお店。昔ながらの雰囲気、どこかホッとする味わいが魅力です。おすすめは「ダブルカレー」！カツが2枚入ってボリューム満点。出汁の効いた和風カレーはここでしか味わえないです。食後には名物の「ぜんざい」をどうぞ。焼きもちの香り漂う「ぜんざい」までどうぞ。甘いぜんざい、昔ながらの味わいにほっこり癒されます。

ジンジン POINT!

食後には名物の「ぜんざい」までどうぞ。焼きもちの香り漂う、甘いぜんざい、昔ながらの味わいにほっこり癒され、ジンジン。

